

# 日常臨床で知っておくべき 非菌原性歯痛の診断とその対応

石垣尚一氏 (大阪大学歯学部附属病院口腔補綴科外来医長)

5 月 度  
生涯研修抄録

「今朝起きたら右上の奥歯がズキズキ痛みます」と訴えて来院された患者さん。口腔内を診察したところ、歯は健康な状態にあり、歯肉も腫れていない。修復もされていない。病的なポケットもない。動揺もない。打診痛は軽度。歯頸部にエアーを吹きかけると少し痛む。デンタルX線写真には異常所見なし。さて、次はどうすればよいのか。

「3日前から左下の奥歯で物を噛むとズキンとする」と訴えて来院された患者さん。口腔内を診察したところ、クラウンが装着されており、病的なポケットや動揺はない。打診痛は軽度。デンタルX線写真では、メタル築造がなされており、

根管充填はアンダー。根尖部には境界が明瞭な透過像。Perと診断して感染根管治療を開始したが、根管内はクリアになったのに、一向によくならない。次はどうすればよいのか。

患者さんは明確に歯が痛いと言っているときに、本当に歯だけに原因があるとは限らない。このように、菌原性歯痛と非菌原性歯痛の臨床的鑑別は日常臨床において非常に重要であるが、「歯の痛み」だけにとらわれて診察を進めていると見逃してしまうことも少なくない。

非菌原性歯痛の原疾患は、概ね多い方から挙げると、①筋・筋膜性歯痛

②神経障害性歯痛、③経血管性歯痛、④顎洞性歯痛、⑤心臓性歯痛、⑥精神疾患または心理社会的要因による歯痛、⑦特発性歯痛、⑧その他さまざまな疾患により生じる歯痛、に分類される。

本講演では、これらについての発症メカニズム、検査方法、診断の勘所、患者への説明の仕方など、安心して対応できるようにするための知識を確認しておくべき事項について概説したい。

なお、無料で閲覧できる参考資料として、①非菌原性歯痛診療ガイド

日時 5月20日(日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール 定員 1000人  
会費 会員3千円、未入会者1万円

大阪市北部地区は3月24日、保険医協同組合会館で総会を開き、2017年度活動の中間まとめと決算、18年度の予算、役員体制を承認した。17年度は2つの臨床講習会と、口腔内カメラ写真撮影の講習会を開き、淡路島の日帰り旅行にも取り組んだ。FAXニュースを年間17回発行し、大阪市との懇談や「保険で良い歯科」署名の推進、指導や改定の動向などの情報を提供した。

堺市長選で竹山氏勝利に貢献  
堺・高石・和泉地区

# 極貧層に合わせる道理のない 保護基準の引き下げ

小久保哲郎(弁護士生活保護問題対策全国会議事務局長)

生活保護費削減  
35万人の子どもの影響

クリスマス直前の2017年12月22日。安倍内閣は生活保護世帯にとんでもない「プレゼント」をした。平均1.8%、

クリスマス直前の2017年12月22日。安倍内閣は生活保護世帯にとんでもない「プレゼント」をした。平均1.8%、

最大5%の生活保護基準削減案を含む18年度予算案を閣議決定したのだ。一部保護費が上がる世帯もあるが、7割の世帯が減額となる。年間国費へ1.6億(地方負担も含む)2.3億(円)の削減である。

しかも、3歳未満の児童養育加算は1万5千円から5千円減る。児童手当制度との連動を断ち切り、一般世帯よりも不利な立場に置くことになる。母子世帯の生活扶助

費も4割の世帯は引き下げとなり、母子加算は平均2万1千円から4千円も削減される。名古屋国立大学特別講師・桜井啓太氏の試算によれば、見直しで不利益を受ける子どもの数は35万人にも及ぶ。子どもの貧困対策に逆行するといわざるを得ない。18年10月から3回に分けて保護基準の引き下げが実行される。

相次ぐ減額に耐えがたい追い打ち

生活保護基準は、04年度に実施された高齢加算(75歳以上の高齢者に都市部で約1万8000円支給されていた加算部分)の段階的廃止(年額3377億円)を皮切りに削減が相次いでいる。13年度からは3年かけて史上最大の引き下げがなされた。生活費の本体部分の生活扶助基準が平均6.5%、最大10%(年額670億円)削減されたのだ。15年からは住宅扶助基準(年額190億

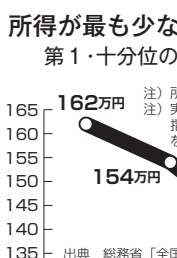
円)と冬季加算(年額30億円)も削減されたのに引き続いての今回の削減である。私たちが昨年12月26日に実施した緊急ホットラインには1日で300件以上の電話が殺到し、「国から死ぬと言われている気がする」といった声が寄せられた。

低所得層全体の生活水準を引き下げる

今回の生活保護基準の引き下げ案は、第1・十分位層という最貧困の所得階層(下から10%)の消費水準に生活保護基準を合わせるというものである。しかし、「下位10%の最貧困層の生活が生活保護基準以下」という



所得が最も少ない10%層の所得推移  
第1・十分位の所得の上限値(実質)



これは、この国には、生活保護基準以下の「健康でも文化的でもない生活」を余儀なくされている「極貧層」の人が少なくないことを意味している。極貧層の生活水準に合わせた生活保護基準を下げたからといって、極貧層の生活が楽になるわけではない。むしろ、ナシ

ヨナルミニマムとして様々な低所得者施策の基準に連動している生活保護基準の引き下げは、低所得層全体の生活水準の限界のない引き下げにつながる。本来は、最貧困層の生活水準の引き上げ

ことが必要である。13年からの史上最大の生活保護基準引き下げに対して、29都道府県で約1000人の原告が違憲訴訟(い)のちのりで裁判(い)のHP(参照)をたたかっている。今回の引き下げに対しても全国規模での争訟が展開されることになるだろう。

無料個別相談  
法律 5月7日(月) 午後2時～4時  
税務 5月16日(水) 午後2時～5時  
雇用 5月17日(木) 午後2時～4時  
会場 保険医会館  
※事前予約制です。1週間前までにお申し込みください。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。協会の行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

## 2017年度 各地区総会

### 精神的にFAX ニュースを発行

大阪市北部地区

大阪市北部地区は3月24日、保険医協同組合会館で総会を開き、2017年度活動の中間まとめと決算、18年度の予算、役員体制を承認した。17年度は2つの臨床講習会と、口腔内カメラ写真撮影の講習会を開き、淡路島の日帰り旅行にも取り組んだ。FAXニュースを年間17回発行し、大阪市との懇談や「保険で良い歯科」署名の推進、指導や改定の動向などの情報を提供した。

堺市長選で竹山氏勝利に貢献  
堺・高石・和泉地区

堺・高石・和泉地区は3月31日、堺市内で総会を開催。2017年度の活動総括・収支報告、18年度の活動方針・予算などの各議案を確認した。活動総括では、竹山修身氏を推薦した堺市長選挙の取り組みで市内の全会員へ訪問したことを紹介。18年度の活動では、子ども食堂で歯科健診、や百舌鳥古墳群を散策する文化企画を行う。総会後の新点数説明会に117人が参加した。

新人スタッフ総合講座  
日時 5月13日(日) 午前9時30分～午後4時  
午前：接遇マナー研修(クレーム対応含む)  
午後：助手編、衛生士編にわかれて研修  
会場 M&Dホール  
講師 午前：水原道子氏(大手前短期大学ライフデザイン総合学教授)  
午後：歯科臨床・学術部講師団  
会費 助手編7千円、衛生士編8千円(テキスト代含む)

6月度生涯研修  
歯科医院におけるう蝕・歯周病の予防と健康管理(仮題)  
日時 6月3日(日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール 定員 1000人  
講師 花田信弘氏(鶴見大学歯学部探査歯学講座教授)  
会費 会員3千円、未入会者1万円

## 協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731  
ファクス 06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

無料個別相談  
法律 5月7日(月) 午後2時～4時  
税務 5月16日(水) 午後2時～5時  
雇用 5月17日(木) 午後2時～4時  
会場 保険医会館  
※事前予約制です。1週間前までにお申し込みください。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。協会の行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。